



## 水疱瘡（みずぼうそう）



水痘－帯状疱疹ウイルスによる初感染で発症します。

### ➤ 症状

37℃～39℃の発熱と共に、赤い小さなかゆみを伴った発疹が出現し、その後全身に広がり水疱になり、やがてかさぶたになります。頭の中にも発疹がでることがあります。発疹は平均して1週間から10日間で軽快します。発熱は通常1～3日で下がります。

### ➤ 感染経路

咳やくしゃみを吸い込むことによる飛沫（ひまつ）感染、皮膚を触ってかかる接触感染などがあります。

### ➤ 潜伏期間

14～16日間

### ➤ 治療

抗ウイルス薬（ゾピラックス）があります。発疹が出現して3日以内に内服すれば、発疹の数が少なくてすみ、治るまでの時間が短縮できます。かゆみを抑えるために塗り薬や飲み薬があります。発熱に対しては冷却とともに、アセトアミノフェン（アンヒバ、カロナール）などの解熱薬を使用します。

### ➤ 家庭で注意すること

発疹はかゆみを伴うことがあり、かきむしって細菌感染を合併することがあるため、かかせないようにしてください。手はこまめに洗って清潔にし、爪は短くしましょう。また水疱はつぶさないように注意して、シャワーやかけ湯をして肌を清潔にしましょう。かさぶたになったら、湯船に入ってかまいません。かさぶたは無理にはがさないようにしてください。

### ➤ 出席停止期間

約1週間から10日がかさぶたになります。すべての発疹がかさぶたになったら登園、登校は可能です。